

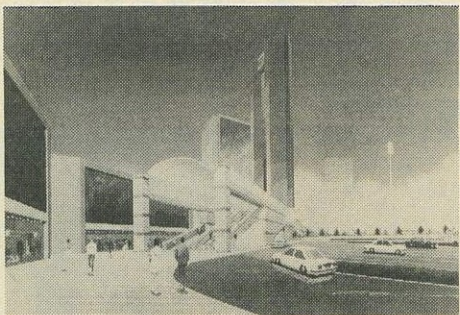
64年3月の

# 運転開始めざす

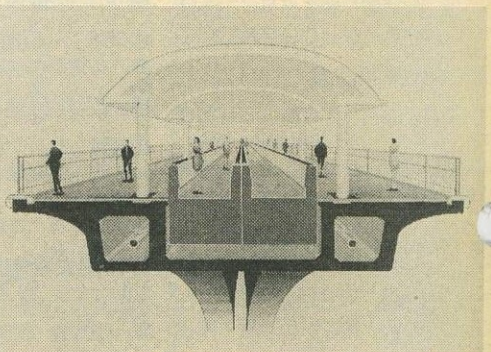
みなとみらい21地区と桜木町駅前広場を結ぶ動く歩道の起工式が七月一日、日本丸メモリアルパーク前特設会場で行なわれました。この動く歩道は、安全で快適な歩行者空間建設の一環として導入され、日本初の道路施設として位置づけようとするものです。工事は昭和六十四年三月の運転開始をめざして進められます。

起工式には、細野市長をはじめ関係者百三十人が出席。市長のあいさつの後、市長、関市議会議長、地元連合町内会会長ら七人でクワ入れを行ないました。

みなとみらい21地区では、誰でも快適に利用できる歩行者空間を提供するために、歩行者ネットワークの建設がすすめられています。動く歩道は、この構想の一環として導入され、桜木町駅前広場とみなとみらい21地区を結ぶ歩行者専用道路橋の中央部に設けられるもので、公共性が高いことから、動く歩道としては我が国で初めて道路施設として位置づけられる予定です。



設置される機器は、延長約六十メートルと九十メートルのもの各二基で、速度を四十メートル

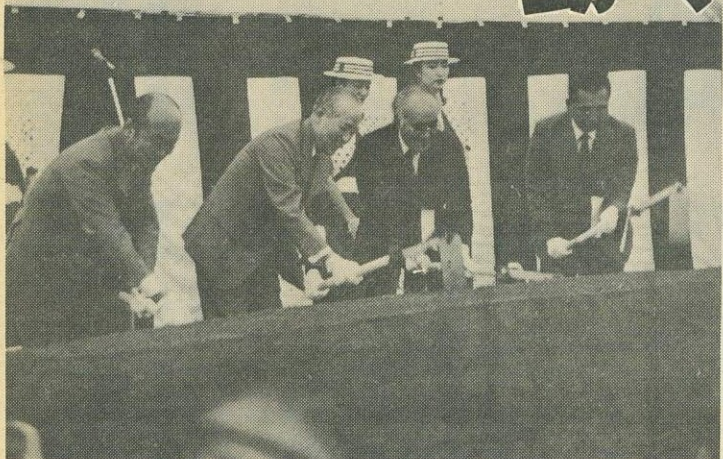


と二十メートルに切り変えられる機能を持っています。毎分四十メートルで運転の時には、毎時一万二千人を運ぶことができます。踏み板には、輸送能力の向上と、身体の不自由な方の利便を図るため、広幅員タイプのもので採用される予定です。また安全確保のために、モニターテレビなどの保安機器が導入されます。

将来は一日当り約十七万人、ピーク時約二万八千人の利用が予想されており、市政百周年記念横浜博覧会開催時には、会場へのメイン輸送システムとして運行されることになっています。

# 動く歩道起工式行なわれる

長道整備事業起工式



かけ声も勇しくクワ入れを